

発議案第 5 号

若者も高齢者も安心して老後を暮らせるように求める意見書

上記意見書を別紙のとおり、燕市議会会議規則第 14 条第 2 項の規定により提出する。

令和 7 年 1 月 24 日

燕市議会議長 渡邊 雄三 様

提出者 燕市議会市民厚生常任委員会
委員長 中山 真二

若者も高齢者も安心して老後を暮らせるように求める意見書

物価高騰と年金の実質的価値の低下により、年金生活者の生活は著しく困窮しています。

公的な統計データが示す通り、高齢者層の生活保護世帯の割合は高く、また、生活のための高齢者就業者も過去最多となるなど、制度が生活基盤としての役割を果たせていません。

さらに、年金の実質価値の目減りが続くことで、若い世代の制度への不信と将来不安が増大していることから、以下の通り強く要望する。

記

1. 若者も高齢者も安心して老後を暮らせるように、給付額の十分性を満たす持続可能な制度を実現するため、その構造的な見直しを強力かつ速やかに推進するとともに、物価上昇にも見合う老齢年金の給付額を速やかに改善すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

2025年12月24日

新潟県燕市議会議長 渡邊 雄三

衆議院議長 額賀 福志郎 殿
参議院議長 関口 晶一 殿
内閣総理大臣 高市 早苗 殿
厚生労働大臣 上野 賢一郎 殿